

## 中部の工作機械

# 日本のモノづくりを力強く支える



## 製造ラインの一新につながる スギノマシンの「セルフセンターH15-LX」

丁の精度を誇る。消費電力も、力や設置面積を各25%削減し、ランニングコストも約30%低減できる。

前回、小型・高精度な洗浄機で、いずれもCNC制御により0・08ミクロンのワーカーでも高精度で効率的な洗浄が可能になつた。

高松機械工業は同社主力のコンピューター数控制御(CNC)旋盤のミニアップで最も低価格となる機種[GSL-10]を投入した。スピンドル10と8角のタレットが1つずつのシンプルな構造で

コストパフォーマンスを重視。価格は350万円で月産15—30台を見込む。チャックのサイズは6吋で、最大加工径は直径180ミリ。機械の設置スペースは幅1400ミメ、奥行き1360ミリ。

三鷹工業所（愛知県小牧市）は、工作機械用ク

でも北米や中国などで営業、メントナンス体制を強化しており、現在40%程度の輸出比率は14年3月期に50%に高まる見込みだ。

スギノマシン（富山県魚津市）は、“加工からバリ取り・洗浄まで”を一環で製造できる先進のトータル技術の提案を引き続き強化する。自動車の内燃機部品などの製造ラインを一新できるといふ。

特に主軸アーバー40番クラスで加工していたワーワーク（加工対象物）に対応できるアーバー30番の高精度横型マシンングセンター（MC）「セルフセンター H15-LX」は従来機に比べロンクストロークで4気筒シリンドームヘッドなど大物の加工に適している。位置決めは、0・0006ミリ以下

加工したワーワークは、切りくずやバリ取り用の洗净機が効果的に除去する。同社は高圧ポンプから洗净装置まで一貫生産する洗净機メーカーでもある。すでに世界各国の自動車業界など数多くの納入実績を持つ。

最高50 MPaの高圧水を用いる気中洗净機「ジエットクリーニングセンター WIDE」や水中で7 MPaの洗净圧をかける水中洗净機「ジエットクリーニングセンター U-I

中華書局影印  
新編 五代史



## 女性社員が開発を担当した 高松機械工業の「GSL-10」

# さらなる受注増に向けて

# 新製品を積極的に開発

するなど経済成長による需要増が期待できる東南アジアの市場開拓に注力している。新製品も東南アジアの自動車部品工場などに売り込むことを狙う。そこで、開発は女性社員が担当した。東南アジアの自動車部品メーカーなどの工場では女性の作業員が工作機械を取り扱うことが多いためだ。ドアパネルをピンク色にするなど女性が親しみやすい仕様にした。

同社は東南アジア以外過精度は3名目。濾過したクリーラント液を再利用する顧客からは工具の長寿命化や精密品加工時の不良低減につながると評価が高い。

同社では、炭素繊維強化プラスチック(CFRP)やアルミニウムは切り粉が微細で高い濾過精度が求められているとし、航空機や自動車業界の加工素材の変化を追い風に拡販に努めていく。

コストパフォーマンスを重視。価格は350万円で月産15-30台を見込む。チャックのサイズは6寸で、最大加工径は直径180ミリだ。機械の設置スペースは幅1400ミリ、奥行き1360ミリとコンパクトにした。同社は12年7月に子会社がインドネシアで業務を始めたほか、タイ子会社の人員を増やすなど営業、メンテナンス体制を拡充

でも北中米や中国などで営業、メンテナンス体制を強化しており、現在40%程度の輸出比率は14年3月期に50%に高まる見込みだ。

三鷹工業所（愛知県小牧市）は、工作機械用クリント液の小型濾過装置「カンボスフィルタ」が00年の発売以降、累計販売台数が3000台を超える。

同機はフィルターに珪

## – 新たな可能性を開く中部の工作機械産業 –